

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会議決権基準日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
上場金融商品取引所	東京・大阪
公告方法	当社公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。 http://www.nichirei.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〔郵便物送付先〕	〔2008年12月30日まで〕
〔電話お問合せ先〕	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〔2009年1月5日より〕 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎(03) 5213-5213(代表) ☎0120-288-324(変更はありません)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

ご案内

- 住所、氏名、配当金の振込先などの変更および単元未満株式の買取り、買増しにつきましては、株主名簿管理人へお問合せのうえ、お手続きください。
- 配当金をゆうちょ銀行貯金口座へお振込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので、株主名簿管理人に指定用紙をご請求ください。



Vol.21

第91期中間 グループ報告書
2008年4月1日～2008年9月30日



© 2009 Marie Fox Licensed through Mega Press Japan

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、
グループトータルネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、
笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。



Contents

株主の皆様へ	2
第2四半期(6カ月間)の連結業績ハイライト	3
第2四半期(6カ月間)の連結業績概要	4
株式の状況	8
FOCUS	9
INTRODUCTION	11
TOPICS	13
会社概要	14

Profile 表紙絵の画家プロフィール Ms. Marie Fox

アメリカ、マサチューセッツ州ダックスバリー出身。
川やボート乗り、歴史的な建物などの環境で視覚的な
刺激を受けて育った。彼女の作品は、ホワイトハウスの
クリスマスカード制作をはじめ、ジグソーパズルや
グリーティングカードとして広く使用されています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげ
ます。

第91期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃の
ご支援に心から厚く御礼申し上げます。

この度、株式会社ニチレイフーズが中国から輸入した冷凍
「いんげん(250g)」1袋から殺虫剤が検出された件につきまして、
株主の皆様には多大なるご心配をお掛けしております。当社と
いたしましては、当局による原因の早期特定に最大限の協力を
しているところでございます。また、お客様の信頼回復に向け、
グループの品質管理体制をより一層強化してまいりますので、
何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期(6カ月間)のわが国経済は、原油をはじめとした
資源価格高騰の影響などにより、企業収益が落ち込み、設備
投資も停滞するなど景気は減速傾向で推移しました。

物流関連業界におきましては、高騰が続いていた原油価格は
2008年7月以降に下落傾向となりましたが、国内の燃油価格
は高水準で推移し、サーチャージ導入の動きが進行しました。

また、食品関連業界におきましては、原材料価格の高騰により
食品の価格改定が相次ぐなか、食品の表示や安全性に関する
問題が新たに発生し、生活者の食に関する信頼の回復に

向けた対応がより一層強く求められております。

このような状況のなか、当第2四半期(6カ月間)の連結売上高
は、畜産事業と低温物流事業の好調に支えられ前年同期比
5.1%の増収となりました。連結営業利益は、加工食品事業が
原材料の高騰などの影響により苦戦しましたが、利益率が改善
した水産事業や畜産事業の増収により前年同期比13.7%の
増益となりました。連結四半期純利益は、リース会計基準の
適用に伴う特別損失を計上したことから前年同期比16.5%の
減益となりました。

当第2四半期末(2008年9月末)は、グループ中期経営計画
(2007年度～2009年度)の中間点にあたりますが、世界的な
金融システムの混乱などから、国内においても株価や為替
相場が急激に変動し、景気の先行きはさらに厳しい状況となる
ことが見込まれます。当社グループにおきましては、目まぐるしく
変化する事業環境へ適正かつ迅速に対応するとともに、食品
企業グループとしてさらなる「安全・安心」の実現や環境保全
にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解と
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年12月吉日

グループミッション・ビジョン

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネット
ワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、
お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・
サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる
企業として、社会とともに成長します。

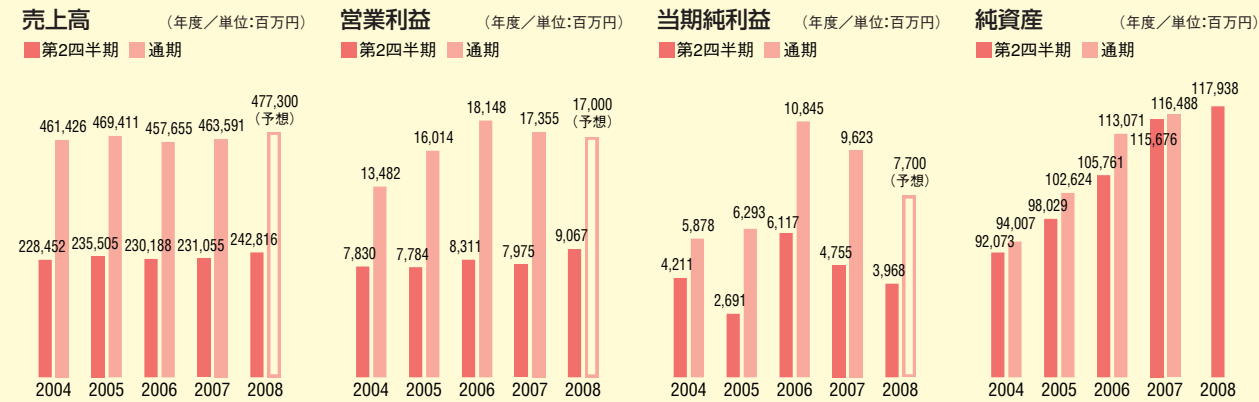


代表取締役会長 浦野光人

代表取締役社長 村井利彰

第2四半期（6カ月間）の連結業績ハイライト

連結



(注) 1. 2004年度～2005年度における「純資産」には、会計基準の変更に伴う少数株主持分は含まれていません。
2. 連結通期予想(2008年10月28日公表)は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

区 分	単位	2004年度 第2四半期	2005年度 第2四半期	2006年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期
売 上 高	百万円	228,452	235,505	230,188	231,055	242,816
営 業 利 益	百万円	7,830	7,784	8,311	7,975	9,067
当 期 純 利 益 (四 半 期 純 利 益)	百万円	4,211	2,691	6,117	4,755	3,968
純 資 産	百万円	92,073	98,029	105,761	115,676	117,938

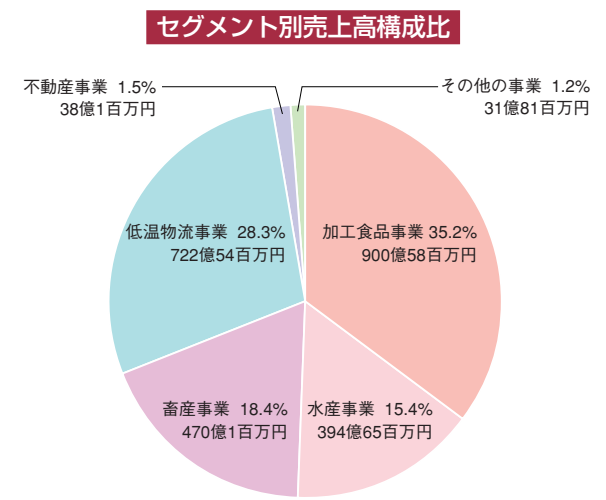
中間配当金

中間配当金は1株につき4円とし、2008年12月2日を支払開始日とさせていただきました。

第2四半期（6カ月間）の連結業績概要 ● 連結子会社数 71社 ● 持分法適用関連会社数 13社

売上高は、畜産事業において鶏肉が大幅に伸長したことや低温物流事業において欧州地域での保管・運送事業が好調に推移したことなどから、2,428億16百万円（前年同期比5.1％の増収）となりました。

利益面では、アセロラの不振や想定を超える製品・原材料の調達コストの上昇などにより加工食品事業が前年を下回りましたが、えびをはじめとする主力商品の利益率が大きく改善した水産事業と大幅な増収となった畜産事業が牽引し、営業利益は90億67百万円（前年同期比13.7％の増益）、経常利益は86億72百万円（前年同期比12.5％の増益）となりました。一方、リース会計基準の適用に伴う特別損失17億31百万円を計上したことなどから、四半期純利益は39億68百万円（前年同期比16.5％の減益）となりました。



セグメント情報

第2四半期 2008年4月1日から2008年9月30日まで（単位：百万円）

	売上高	営業費用	営業利益
加工食品事業	90,058	89,051	1,007
水産事業	39,465	38,692	772
畜産事業	47,001	46,333	668
低温物流事業	72,254	67,872	4,381
不動産事業	3,801	1,736	2,065
その他の事業	3,181	3,108	73
計	255,763	246,793	8,970
消去または全社	(12,947)	(13,044)	97
連 結	242,816	233,748	9,067

前第2四半期 2007年4月1日から2007年9月30日まで（単位：百万円）

	売上高	営業費用	営業利益
加工食品事業	88,462	86,968	1,493
水産事業	38,241	38,584	△ 342
畜産事業	40,307	40,020	287
低温物流事業	68,833	64,497	4,335
不動産事業	3,863	1,636	2,226
その他の事業	2,900	2,893	7
計	242,609	234,601	8,007
消去または全社	(11,554)	(11,521)	(32)
連 結	231,055	223,079	7,975

第2四半期（6カ月間）の連結業績概要

第2四半期連結貸借対照表（要旨）

区 分	第2四半期	前 期
	2008年9月30日現在	2008年3月31日現在
流 動 資 産	116,020	103,097
固 定 資 産	177,613	154,714
有 形 固 定 資 産	134,963	111,876
無 形 固 定 資 産	4,961	3,671
投 資 そ の 他 の 資 産	37,687	39,166
資 産 合 計	293,633	257,812
流 動 負 債	122,859	81,247
固 定 負 債	52,835	60,076
負 債 合 計	175,695	141,323
株 主 資 本	108,913	107,338
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	23,712	23,711
利 益 剰 余 金	55,234	53,678
自 己 株 式	△ 341	△ 359
評 価 ・ 換 算 差 額 等	7,016	6,923
少 数 株 主 持 分	2,007	2,226
純 資 産 合 計	117,938	116,488
負 債 純 資 産 合 計	293,633	257,812

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表のポイント

POINT

（括弧内は前期末比の増減）

総資産

2,936億円（358億円の増加）

○リース会計基準の適用に伴いリース資産206億円計上
○㈱キューレイの新規連結子会社化により固定資産等が増加
○期間売上高の増加により売上債権やたな卸資産が138億円増加

負債

1,756億円（343億円の増加）

○リース会計基準の適用に伴いリース債務239億円計上
○営業資金の増加や投資活動などの資金需要から有利子負債が91億円増加

純資産

1,179億円（14億円の増加）

○四半期純利益39億円の計上、配当金の支払い12億円、昭和炭酸㈱の連結除外による連結利益剰余金11億円減少

「四半期業績のご報告」における適用初年度の取扱いについて

当期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度が導入されました。当社は第1四半期連結会計期間から、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2007年3月14日）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 2007年3月14日）を適用しております。

また、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令」（2008年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の「四半期連結財務諸表規則」を適用しております。

これらにより適用される会計基準や用語などが、当四半期に係る財務情報と前年同期に係る財務情報との間で異なっていることから前年同期に係る数値やグラフは参考データとしてご参照ください。

第2四半期連結損益計算書（要旨）

区 分	第2四半期	前第2四半期
	2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	2007年4月 1日から 2007年9月30日まで
売 上 高	242,816	231,055
売 上 原 価	196,287	185,908
売 上 総 利 益	46,529	45,146
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	37,461	37,171
営 業 利 益	9,067	7,975
営 業 外 収 益	1,096	1,100
営 業 外 費 用	1,491	1,367
経 常 利 益	8,672	7,707
特 別 利 益	29	679
特 別 損 失	2,359	738
税金等調整前四半期純利益	6,343	7,648
法人税、住民税及び事業税	2,265	2,171
法 人 税 等 調 整 額	81	665
少 数 株 主 利 益	27	55
四 半 期 純 利 益	3,968	4,755

損益計算書のポイント

POINT

（括弧内は前年同期比の増減）

売上高

2,428億円（117億円の増収）

（単位：百万円）
231,055 242,816
前第2四半期 第2四半期

○畜産事業は鶏肉が大幅に伸長
○低温物流事業は欧州地域での保管・運送事業が好調に推移

営業利益

90億円（10億円の増益）

（単位：百万円）
7,975 9,067
前第2四半期 第2四半期

○水産事業は利益率が大幅に改善し増益
○畜産事業は大幅な増収により増益
○加工食品事業はアセロラの減収や製品・原材料調達コスト上昇の影響などにより減益

経常利益

86億円（9億円の増益）

（単位：百万円）
7,707 8,672
前第2四半期 第2四半期

○改正リース会計基準を適用したことなどにより支払利息が2億円増加
○営業利益の増加により増益

四半期純利益

39億円（7億円の減益）

（単位：百万円）
4,755 3,968
前第2四半期 第2四半期

○リース会計基準の適用に伴う特別損失17億円を計上

第2四半期（6カ月間）の連結業績概要

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

区 分	第2四半期 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで	前第2四半期 2007年4月 1日から 2007年9月30日まで
●営業活動によるキャッシュ・フロー	922	4,422
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,127	△3,414
●財務活動によるキャッシュ・フロー	5,479	△ 589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 205	279
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 930	698
現金及び現金同等物の期首残高	4,121	3,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,190	4,213

設備の状況

①設備投資等の概要

	第2四半期 2008年4月1日から2008年9月30日まで	前第2四半期 2007年4月1日から2007年9月30日まで
資本的支出	5,850	3,124
設備投資額	5,282	2,849
減価償却費	4,904	4,658
リース資産減価償却費	1,837	—

②第2四半期連結累計期間に実施した重要な設備投資の内容

完了年月	会社名 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメント	設備の内容	第2四半期累計 期間計上額 (既計上額)	完成後の 増加能力
2008年6月	(株)キョクレイ 山下物流センター	横浜市中区	低温物流	物流センターの増設 (建替 (第1期))	1,447 (2,257)	冷蔵 11,054t
2008年7月	(株)ニチレイ・ロジスティクス中国 松江物流センター	島根県松江市	//	物流センターの増設	361 (363)	冷蔵 1,651t
継続工事中 (2008年10月竣工予定)	Hiwa Rotterdam Port Cold Stores B.V.	オランダ ロッテルダム市	//	物流センターの新設	275 (275)	冷蔵 18,700t

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. (株)キョクレイ 山下物流センターの「完成後の増加能力」は、建替後の数値です。

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

(括弧内は前年同期比の増減)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 9億円の収入 (35億円の減少)
- 経常利益は86億円、減価償却費は67億円と前第2四半期連結累計期間を上回る
- 賃貸ビル保証金30億円の返還、季節的要因による営業資金(売上債権、たな卸資産、仕入債務)の支出92億円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー 71億円の支出 (37億円の増加)
- (株)キューレイの株式購入や有形固定資産の取得による71億円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フロー 54億円の収入 (60億円の増加)
- 有利子負債が増加する一方、配当金支払い12億円支出などにより54億円の収入

以上により、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期末に比べ10億22百万円減少し31億90百万円となりました。

株式の状況 (2008年9月30日現在)

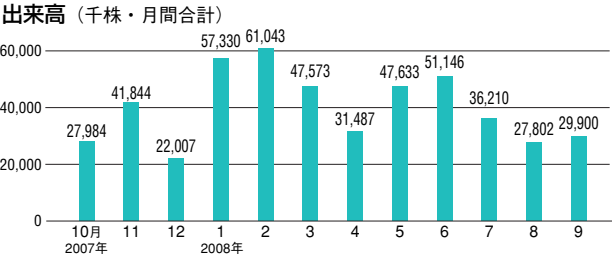
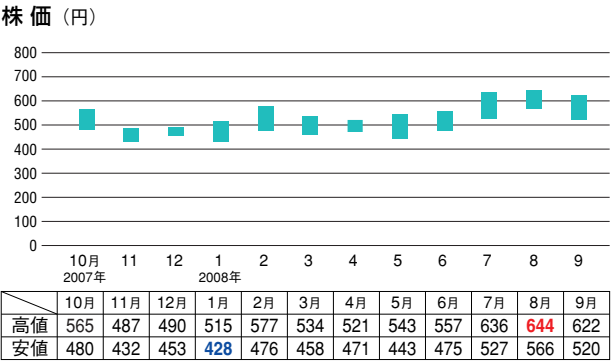
発行可能株式総数 720,000,000株
発行済株式総数 310,851,065株
※発行済株式総数には、自己株式(750,625株)を含んでいます。
単元株式数 1,000株
株主数 28,606名

●大株主

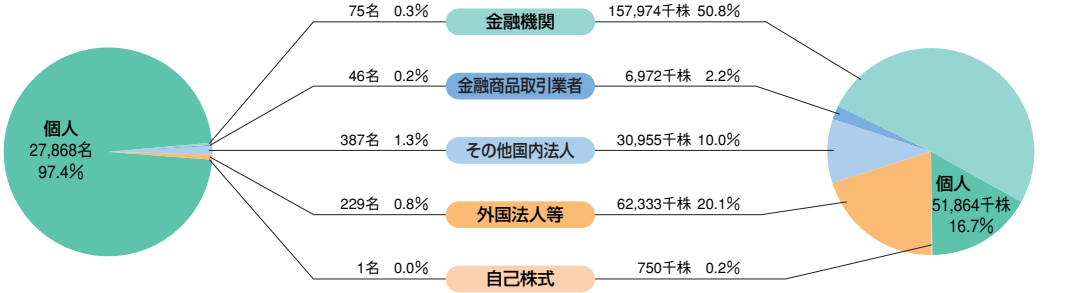
株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,977	7.4
日本生命保険相互会社	16,785	5.4
株式会社みずほコーポレート銀行	15,370	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,903	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,459	4.0
株式会社損害保険ジャパン	11,059	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	8,290	2.7
第一生命保険相互会社	5,716	1.8
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	5,598	1.8
農 林 中 央 金 庫	5,350	1.7

(注) 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

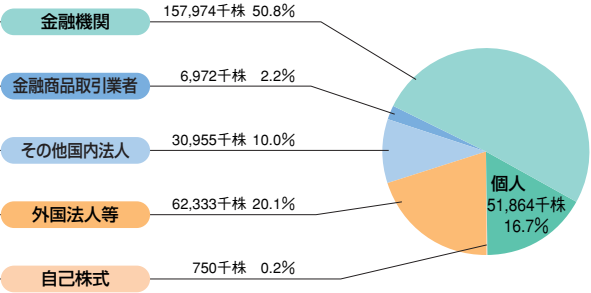
●株価チャート



●所有者別株主数分布状況



●所有者別株式数分布状況



■ ニチレイグループ環境方針

本年10月、グループ環境保全委員会にて「ニチレイグループ環境方針」の見直しを図り、基本方針と行動指針を改定しましたので、ご紹介します。

(2008年12月1日改定)

■ 基本方針

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える企業集団として“食”と“健康”の源である地球の恵みを次世代に引き継ぎ、「おいしさ」と「新鮮」を継続してお届けするため、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

● 地球温暖化防止

ニチレイグループは、気候変動の影響を大きく受ける“食”に関わる調達、生産、保管、物流などの事業活動に伴う温暖化ガス排出量の削減に加え、ビジネススタイルやライフスタイルの変革を支援する活動を実施し、地球温暖化防止に貢献します。

● 持続可能な、資源循環の推進

ニチレイグループは、有限な地球資源を効率的に利用していくとともに、事業活動を通じて廃棄物発生抑制、資源の再利用、リサイクルを推進します。また、循環資源の購入やしくみ作りにより、循環型社会システムの構築に貢献します。

● 自然との共生

ニチレイグループは、自然界の多様な生態系や生物種などによって豊かな地球があることを認識し、自然との共生に配慮します。

■ 行動指針

ニチレイグループは、環境問題を経営の重要課題のひとつと捉え、基本方針に基づき、全ての事業活動において、環境への配慮を徹底し行動します。

- | | | |
|--------------------|----------|---------------------|
| 1 マネジメントシステムの構築・運用 | 2 法令等遵守 | 3 環境に配慮した製品・サービスの提供 |
| 4 意識を高め、行動へ | 5 社会との協調 | |

■ ニチレイグループ環境活動

ニチレイグループ各社では、様々な環境活動が行われています。主なものをご紹介します。

■ ニチレイフーズ — 使用容器包装重量の削減と紙トレイの採用

ニチレイフーズでは、冷凍食品を生産する過程において、容器包装の大きさの適正化、トレイの不使用、より軽量の素材の採用など、容器包装重量の削減に継続的に取り組んでいます。

家庭用冷凍食品の「ミニハンバーグ」では、トレイをより軽量の素材へ変更し、トレイ重量を13.4%削減し、プラスチック使用量を年間12t削減しました。

また、よりリサイクルしやすい取組みとして、2007年度に販売を開始した「蔵王山麓グラタン」「蔵王山麓ドリア」の容器をプラスチックトレイから紙トレイの使用に切り替えました。お客様に大変ご好評いただいています。



従来のトレイ

軽量化したトレイ

■ ニチレイフレッシュ — 養鶏場から発生する鶏ふんの有機肥料化

ニチレイフレッシュの自営農場 ニチレイフレッシュファーム(純和鶏の養鶏事業場、所在地:岩手県九戸郡洋野町)では、養鶏場から発生する鶏ふんを最新鋭の鶏ふん有機肥料化設備で処理し、再資源化しています。この飼料は、大手肥料メーカーを通じ日本の農業用有機肥料として100%土壌に還元されます。

なお、このリサイクルの取組みは、岩手県の推進する「岩手産業地域ゼロエミッション推進事業」として申請し、2008年の補助事業として認定されています。



鶏ふんが有機肥料に生まれ変わり袋詰めされます

■ ニチレイロジグループ — 高効率型低温照明器具の開発、導入

ニチレイロジグループのニチレイ・ロジスティクスエンジニアリングでは、省エネルギー効果の高い低温用蛍光灯器具を電気メーカーと共同開発しました。反射板の性能を高め、従来型の照明器具に比べ1.7倍の照度が得られるため、照明器具の設置台数を減らし、省エネルギー化を図ることができます。

また、作業中の照度が格段に高まることにより、検数・検品精度や作業効率が向上し、品質面や生産性の改善にもつながることが期待されます。

ニチレイロジグループの物流センターにおいても、既存の照明器具の切り替えや、新設センターへの導入を進め、CO₂の削減につなげています。



切り替え前

切り替え後

Introduction

ニチレイフーズダイレクト取扱商品のご案内

「健康に暮らす」には正しい食習慣のリズムを作ることが大切です。
ニチレイフーズが考える「健康」と「食の楽しさ」をサポートするオリジナリティー商品をご紹介します。
これらの商品は、ニチレイフーズの100%子会社であるニチレイフーズダイレクトで取り扱っています。

Wodish 20品目膳®シリーズ



ロールキャベツとパスタのトマトソース仕立て



鶏つくねと野菜の炊き合わせ



ひよこ豆と大豆のカレー

ウーディッシュ
私のためのヘルシーメニュー。Wodish!
Wodishとは「Woman Dish」を略した言葉。
食事は簡単便利に、しかもおしゃれに!

そんなあなたに1食20品目以上の食材を使用し、
カロリーを380kcal以下、食塩相当量2.6g以下に
しました。容器にもこだわり、ワン・ディッシュで食事を
楽しんでいただけます。

株式会社ニチレイフーズダイレクト

☎ 0120-86-2101【受付時間：9:00～19:00（土、日、祝日を除く）】
www.862101.jp

〈所在地〉

〒104-8402 東京都中央区築地6-19-20 ニチレイ東銀座ビル

気くばり御膳

1食あたり320kcal以下、食塩相当量2.8g以下、簡単電子レンジ調理の冷凍食品。

カロリーや塩分の調整をはじめ、主食と組み合わせた場合の3大栄養素（たんぱく質・脂質・炭水化物）のバランスも配慮した、冷凍タイプの惣菜セットです。

あとは、主食の増減でカロリーコントロールができます。電子レンジで温めるだけの簡単調理。和・洋・中のバラエティー豊かなメニューをご用意しました。



あなごの卵とし風セット

シェフズバランス



赤魚のたいたん風セット

管理栄養士と有名シェフが監修した惣菜セットです。
宗像伸子先生がカロリーや塩分、栄養バランスを考慮し
食材を構成。

それをもとに、4人の一流シェフがメニューを考え、
プロならではの味を追求しました。

糖尿病食



和風ハンバーグセット

厚生労働省許可の特別用途食品です。1箱に1食分の
主菜と副菜をセットにして320kcalの4単位食と240kcal
の3単位食をご用意しました。

（注）糖尿病食はレトルト食品です。

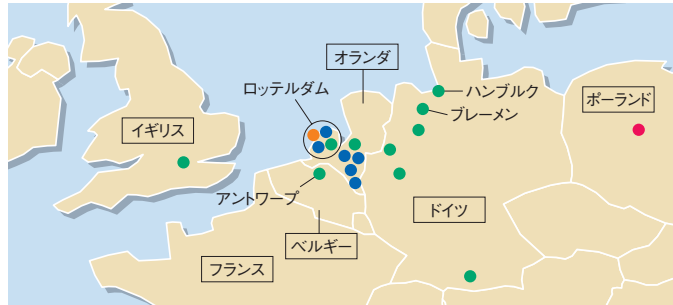
■ 欧州低温物流事業 20周年

1980年代後半、景気の拡大が続くなか、ニチレイでも海外進出が大きな課題となっていました。低温物流では欧州に照準を絞る機会をうかがっていたところ、ユーロフリゴ社の買収案件が持ち込まれました。慎重な検討の結果、ロッテルダムは欧州の玄関港という優れた立地であり、国内で培ってきたノウハウが生かせることから買収を決意しました。1988年にNHH社 (Nichirei Holding Holland) を設立し同年8月に買収を完了、今年で20年という節目を迎えるに至りました。

現在、NHH社傘下に冷蔵倉庫業4社8拠点、低温運送・通関業2社を持ち、ロッテルダム、ハンブルク、ブレーメン、アントワープなどの主要港に事業所を配置し、ポーランドにも展開しています。売上高も2007年度には220億円を上回る規模となりました。

今後はEUの拡大に伴ない、経済成長が顕著な中東欧地域での事業拡大に向けて、ポーランド中南部に新センターを建設、2009年秋の稼働をめざしています。海外でも、高品質な物流サービスを提供して、お客様に選ばれつづける企業をめざします。

各社の事業所立地



● ユーロフリゴ、ユーロフリゴ・フェンロ ● テルモトラフィック・オランダ、テルモトラフィック・ドイツ
● フリゴロジスティクス ● ヒワ・ロッテルダム・ポート・コールド・ストアーズ



20周年パーティー風景

ニチレイロジグループ欧州年表

年号	内 容
1988年	ユーロフリゴ B.V.買収 (略称EFR)
1989年	ユーロフリゴ・フェンロ B.V. (略称EFV) を設立 テルモトラフィック・オランダ B.V.買収 (略称TTH) テルモトラフィック・ドイツ GmbH.買収 (略称TTG)
1990年	ヒワ・ロッテルダム・ポート・コールド・ストアーズ B.V.買収 (略称HIWA) (56,000t)
1992年	EFV フェンロII稼働 (32,000t)
1993年	EFR エイムハーフェン稼働 (48,000t) HIWA フードポート稼働 (13,600t)
1998年	EFR マースフラクタ稼働 (52,300t)
1999年	EFV ヘーレン稼働 (36,000t)
2004年	フリゴロジスティクス Sp. z o.o.買収 (略称FLP)
2005年	TTH アントワープ支店稼働
2009年	FLP ラドムスコ新設予定 (43,200t)

社 名 株式会社ニチレイ

所 在 地 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号

ニチレイ東銀座ビル

設 立 1942年12月

グ ル ー プ
従 業 員 数 6,527名 (連結)

役 員	代表取締役 会 長	浦 野 光 人
	代表取締役 社 長	村 井 利 彰
	取 締 役 専務執行役員	相 馬 義比古
	取 締 役 専務執行役員	長谷川 寿
	取 締 役 常務執行役員	三 田 勇太郎
	取 締 役 執 行 役 員	河 合 義 雄
	取 締 役 執 行 役 員	荒 剛 史
	社外取締役	廣 瀬 光 雄
	社外取締役	炭 谷 俊 樹
	社外取締役	川 俣 美由里
	監 査 役 (常 勤)	大 塚 恒 博
	監 査 役 (常 勤)	永 塚 一 昭
	社外監査役 (非 常 勤)	齊 田 國太郎
	社外監査役 (非 常 勤)	安 念 満
	執 行 役 員	中 村 隆
	執 行 役 員	山 田 達 男
	執 行 役 員	森 康 益

会計監査人 新日本有限責任監査法人
東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル



(株)ニチレイ本社ビル

<http://www.nichirei.co.jp/>
情報満載のホームページ

事業紹介や株主・投資家向け情報はもちろん、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。

